

科目名	DTM 入門 A、F	形態	演習	開講期	春・秋
担当教員	石川 泰昭	単位	2	年次	1

＝授業科目の目標＝

特定の編成による作曲を、楽譜浄書ソフトウェア **sibelius** を用いて実習します。コンピュータを用いた楽譜制作の基礎を習得します。自ら作曲するという事を通して、楽譜の書き方を学びます。後半は、音楽制作ソフト **Cubase** を用いて、基本操作を習得します。

＝履修の条件と学習の方法＝

コンピュータ教室は席数に限りがあります。履修希望者が多数の場合は、初回授業時に履修者を確定するので、必ず出席すること。席数が埋まってしまった場合は、2回目から来ても、履修は認めません。利用者IDは初回から必要です。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。sibelius の概観
- 2回 sibelius：ファイルの作成、保存、マウスを用いた音符や休符の入力
- 3回 sibelius：キーボードを用いた音符入力
- 4回 sibelius：強弱記号のつけ方
- 5回 sibelius：調や拍子の変更
- 6回 sibelius：スラーやクレッシェンドのつけ方
- 7回 sibelius：コピーについて
- 8回 sibelius：自作曲の制作
- 9回 sibelius：自作曲の制作
- 10回 sibelius：自作曲の制作
- 11回 sibelius：自作曲の制作
- 12回 Cubase：基本操作 その1
- 13回 Cubase：基本操作 その2
- 14回 Cubase：基本操作 その3
- 15回 Cubase：基本操作 その4

＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業中の実習を通して制作した作品に、出席状況、受講態度を加味して成績評価を行います。

=テキスト (必携) =

特になし